

Running for peace and love



今日の
レースを
拝見して

さらに
力強い走りに
なっていると
感じました

ありがとう
ございます

アブラハム
選手！



…それは
国を愛し
平和を望む
ためです

ゲム・アブラハム
東京オリンピック
陸上競技
南スーダン共和国
代表選手



世界で一番
新しい国
南スーダンから
日本に
やってきた
あなたにとって

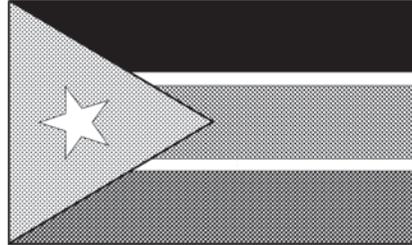
今走る
意義とは
なんです
か？



私は
陸上と出会って
初めて結果を
出せたその時から

この力を
母国のために
活かさないかと
考えてきました

南スーダン
—
共和国



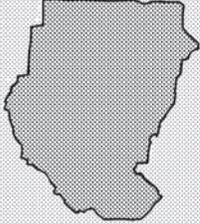
2011年に
独立した
「世界で
一番新しい国」
と呼ばれる
東アフリカの国家

日本の
約1.7倍
もの国土に
1200万人超の
人々が生きる
国だ

そんな
南スーダンの
歴史は

果てのない
内戦の
連続だった

南スーダン
独立以前の
スーダン共和国時代
1955年に起きた
「第一次
スーダン内戦」は



南部と北部の
人種・宗教の
違いから

1972年
まで続く
大規模な
内戦へと
発展した



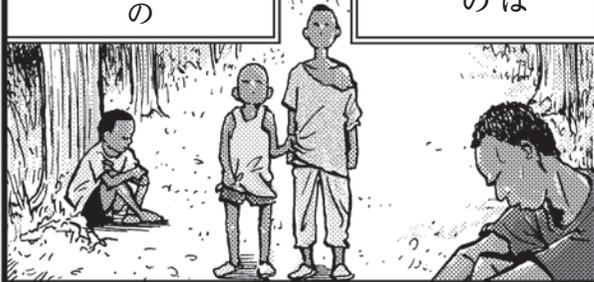
その後
1983年
南部での油田の
発見を
きっかけに

再び南北の
闘争が激化し
「第二次スーダン
内戦」が
勃発した



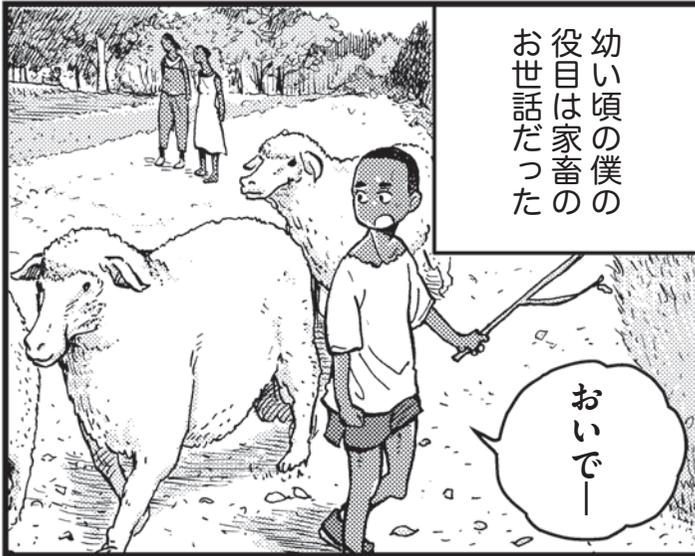
第二次内戦は
20年以上もの
長期に渡り

約250万人
以上の死者と
400万人もの
難民を
生み出した



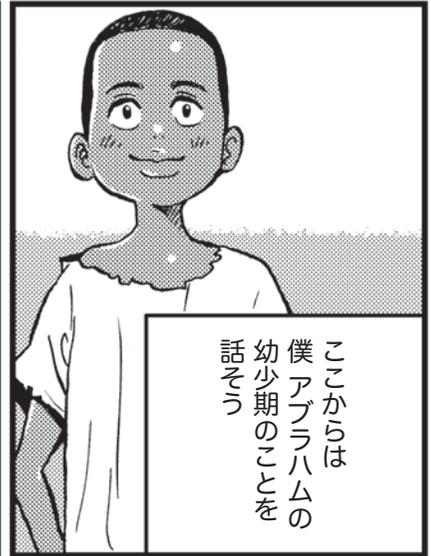
2005年
南北包括和平合意
(CPA)が成立

国民の多くが
平和への前進を
望んでいた



幼い頃の僕の
役目は家畜の
お世話だった

おいでー



ここからは
僕アブラハムの
幼少期のことを
話そう



学校に入ると
僕は勉学に
励んだ

うわー
アブラハム
すげー！



争いなんて
なくなれば
いいのにな



僕は
これから何に
なるんだろう
どんなことが
出来るん
だろう



えっと
ここは

努力を続けたら
たくさんの
友人が
僕を慕って
くれて

気付けば僕は
ヘッドボーイ
生徒長に
選出される
までになった



俺にも
教えて
くれよ
あも！
私も！



うん！
いいよ！



一着
アブラハム
!!



高校に入った
僕は
授業の一環で

初めて
「陸上競技」と
出会った



アブラハム
速え〜
クラス…いや
学校一
速いんじゃない?

へへ…
そうかな
?



学校代表として
地区大会で
最高の成績を
おさめた時



僕は陸上に
のめりこんで
いった

よし!



そうか
僕…
足が
速いんだ



最初の
うちは

ラスト
一周!

「クラスや学校に
勝利をもたらす」
ことが
目標だったけど

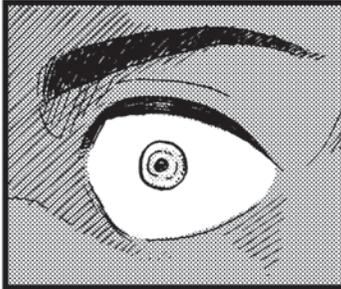


あ



君のおかげで
優勝
できたよ!!

すげえよ
アブラハム!!



ドクミン

僕の走りを
南スーダンの為に
活かしたい...!

それから僕は
「アスリート」を
意識するようにな
った



僕の走り
でみんなが
こんなに
喜んで
くれるんだ



それなら
僕は
僕は

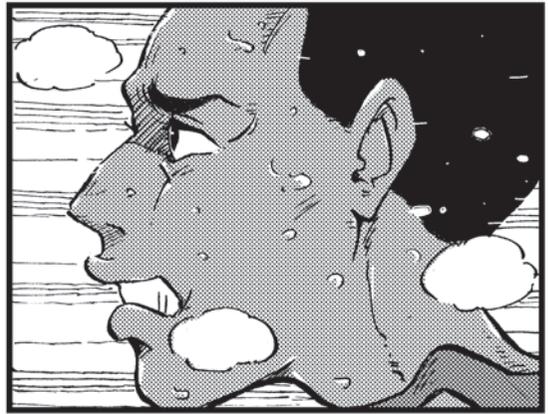
けれど
どうしたら
アスリートに
なれるのか
すぐには
わからなかった



しかし
2015年に
僕にとって
運命的とも言える
出会いが起きた



ナショナル・
ユニティ・
デイ?



なん
ですか?
それ?



ああ
なんでも
国を挙げての
大きなスポーツ
大会らしいん
だけ

各地域から
代表選手を
集めて
競い合う
んだってさ

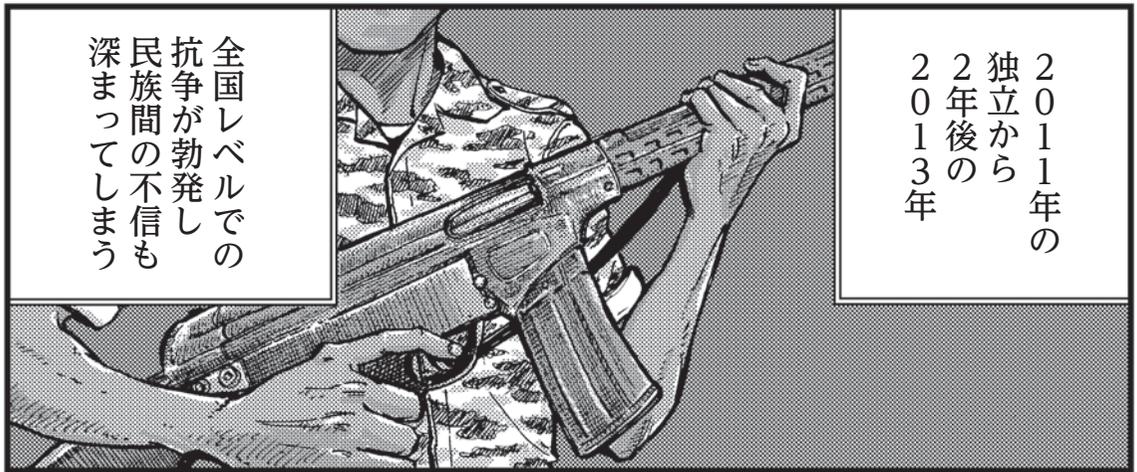


国を
挙げて
...?



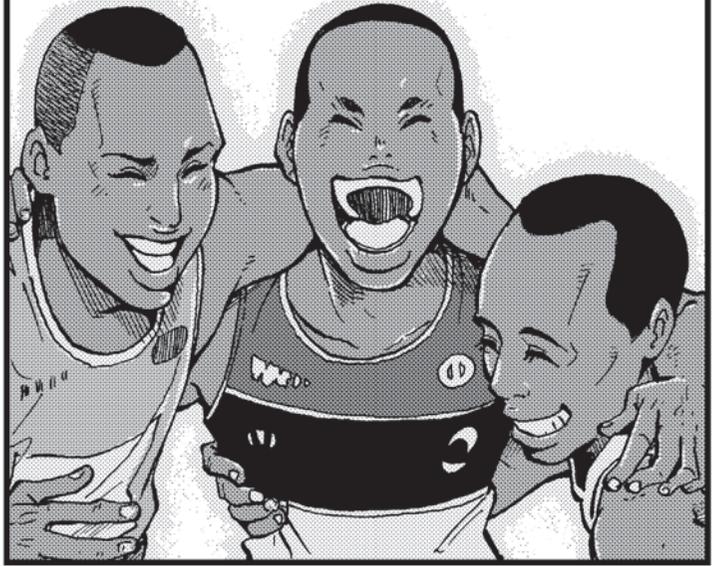
「ナショナル・ユニティ・デイ
(NUD)・・・国民結束の日」

2016年から年に一度
開催されている
「平和と結束」がテーマの
南スーダン全体を挙げた
「全国スポーツ大会」である



そこで
生まれたのが
出身地域や
民族の異なる
若者が

スポーツを通じて
交流を図る
「ナショナル・
ユニティ・デー」
のアイデアである



この初の
試みは

南スーダンで
スポーツを通じた
平和促進活動を行ってきた
日本のJICA
(国際協力機構)
の協力によって

2016年に実現
されたのである

全ての
民族の…

結束…

そんな
ことが
もし
叶うなら…

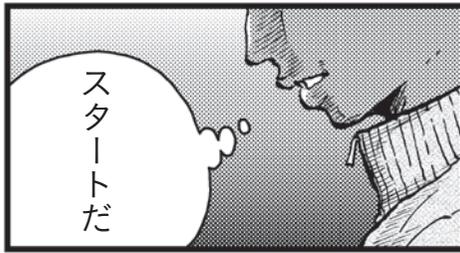
僕の
走りを…!

ワン
ワン
ワン

あの僕
出たいです!
どうしたら
出られます
か!?

OK!
じゃあ今度
選考会が
あるから
早速参加
してくれ!





スタートだ



結果僕は
選考会で
勝利を収め

ジュバ州の代表
として
ナショナル・
ユニティ・デイに
参加する
資格を得た



ここが
僕の本当の
スタート
ラインだ



挑んでいく
ことになる

「自分の夢」
に



僕の走りを
南スーダン^国に
活かす道の
：

こうして僕は
初の
ナショナル・
ユニティ・デイと